総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成27年度）

2. 分野等別状況（2）地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野（7/9）

	評価区分（※）	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （柏市）	正	3.5	3.6 進捗度 ・地域活動の参加者の増加 104% ・地域の自律的な都市経営の活動費（自主財源）の増加 22% ・特例措置による訪問リハビリテーション事業所による訪問リハビリ実施件数及び柏市内の訪問リハビリ実施件数 147% 等	2.8 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 等 地域独自の取組 ・柏市指定居宅サービス等事業人員設備運営基準等条例改正 ・電気事業法第17条第1項の規定による特定供給の供給先に関する規制緩和 等	3.8	・進捗を達成していない指標が一部あるが、全体としては公民学連携による自律した都市経営の実現に向けて着実に進捗しており、国際競争力の強化、地域の活性化に資するものとなっている。 ・市民参加、ベンチャー支援、低炭素、医療サービスなど多種多彩な取組があるが、それらの連携の姿が見えない。 ・ベンチャー事業について支援数が目標を上回る増加がある一方、税制活用の実績値がゼロであるなど、地域経済の活性化の効果についても状況説明が必要である。また、特例措置による高齢者支援は進められているものの、これがスマートコミュニティ事業とどのように関連して取り組まれているかの情報も明示されていない。 ・評価指標（2）の活動費について、目標値と実績値との間にかなりの乖離が見受けられることから、マルシェの開催回数減少を踏まえて、今後の駅前公共空間の活用見通しに基づく目標見直しも必要と思われる。

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書はこちら　◆評価結果はこちら